

# 国語科授業ナビシート

小学校 第2学年 組( ) 名( ) 授業者

単元名「どうぶつの『すごい』を伝えよう」

第8時/全9時

○本時で育成を目指す資質・能力 (いずれかに○をつける)  
( )知識及び技能 ( )思考力・判断力・表現力等

(○)学びに向かう力、人間性等

○本時における「読み解く力」の視点

自分の好きな動物の「すごい」を伝えるために、重要な語や文を考えて選び出している。【A②】  
自分が伝えたいことが伝わるように、友だちと交流することを通して、自分の伝えたいことを明確にしている。【B②】

○本時の目標

他者とのやりとりを通して、自分の好きな動物について書かれた文章から、伝えたい語や文を選び、伝えたいことを明確にすることができる。

○本時の評価規準

評価規準

自分の好きな動物の説明が書いている本から、伝えたい語や文を選び、伝えたいことを明確にしようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

評価する具体的な児童の姿

◎自分の好きな動物の本を何度も読み返して、自分の伝えたい語や文を選び出し、友達とのやりとりを繰り返して自分のより伝えたいことをはっきりさせようとしている。

○自分の好きな動物の伝えたいことを選び出し、自分の伝えたいことを伝えようとしている。

△自分の好きな動物の本を選んでいるが、伝えたい語や文を選び出そうとしていない。または、自分の伝えたいことをまとめようとしていない。

○本時の展開 (めあてや学習課題、学習活動、**予想される児童の姿**、指導の手立て、★評価を行う場面 等)

①学習の見通しもつ。

○自分の好きな動物について、友達と交流することで、自分の伝えたい「すごい」をまとめられるようにすることを伝える。

めあて

自分の好きな動物の「すごい」と思うわけをはっきりさせよう。

○並行読書マトリックスを活用し、以下のような目的に応じて交流する相手を選べるようにする。

交流の目的

同じ本を読んだ友達に「すごい」が分かるように伝える。  
同じ本を読んでいない友達に伝えて、「すごい」が伝わるか確認する。

○学習活動や学習方法を児童に委ね、1時間の中で児童が「粘り強さ」を発揮する中で、「学習の調整が行えるようにする。

②友だちとのやりとりを通し、自分の伝えたいことがまとめられるようにする。【A②】【B②】

★(行動・発言)

◎予想される児童の姿とそれに対する指導の手立て

自分の伝えたい語や文が見つからない児童

・どうして好きな動物を選んだのかを友達に伝えたり、友達が伝えたい語や文を参考にしたりして考えるように促す。

自分の伝えたい語や文が複数ありすぎてまとめられない児童

・友達と交流し、自分の思いを伝えることで自分の考えを整理したり、何度も繰り返し伝えたりするように促す。

自分の伝えたい語や文が選べ、友達に伝えたい児童

・好きな動物の「すごい」について、自分の伝えたい内容を友達に伝え、交流を繰り返すことで、伝える内容を確かにできるように促す。

③学習を振り返る。

・学びの足あとシートに本時の振り返りを書くように促す。

<想定する○評価の振り返り>

「はっきり言えるかな、ちゃんと伝えられるかなと  
思っていたけれど、はっきり言えてよかったです。  
お家の人にも伝えられそうです。」

「自分も上手だったし、友達も上手でした。最後に  
「ここがすごい」と言ってくれてよかったです。」

「すごいね」とか「分かったよ」と言ってもらえた  
ので、この調子でお家の人に言いたいです。」